【報告事項】　令和4年度　公益目的支出計画実施報告・監査報告について

令和4年度　公益目的支出計画実施報告書

一般社団法人尾鷲法人会

Ⅰ．趣旨

従来、公益法人として税制上の優遇措置を受けて形成された財産が一般社団法人化後も無制限に公益目的以外で使われることがないよう、公益目的支出計画に基づき、公益目的財産額を一定期間内に使用し、毎期その実施状況を報告する義務があります。

Ⅱ．公益目的支出計画実施報告書の概要

1．公益目的財産額（算定日：平成25年３月31日）	15,609,775 円
2．当該事業年度の公益目的収支差額（①＋②－③）	10,765,537 円
①前事業年度の末日の公益目的収支差額	9,224,247 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	8,032,750 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	6,491,460 円
3．当該事業年度末日の公益目的財産残額（１－２）	4,844,238 円
（参考）貸借対照表上の正味財産の額	20,512,246 円
公益目的支出計画完了予定事業年度の末日	令和8年3月31日

Ⅲ．実施事業等（継続事業及びその他事業）の状況

継続事業（継1・2）及びその他事業（他1・2）の実施状況は、事業報告書のとおりです。
また、継続事業に係る公益目的支出及び実施事業収入の明細は下記のとおりです。

事業区分	①公益目的支出の額（費用の額）	②実施事業収入の額（収益の額）	（①－②）の額
継1（税環境整備）	6,138,676 円	350,160 円	5,788,516 円
継2（地域社会貢献）	1,894,074 円	6,600 円	1,887,474 円
継続共通	0 円	6,134,700 円	−6,134,700 円
合計	8,032,750 円	6,491,460 円	1,541,290 円

Ⅳ．時価評価資産等の状況

1．算定日に有していた時価評価資産の状況

該当する資産は保有していない。

平成25年度　公益目的支出計画実施報告書

Ⅰ．趣旨

従来、公益法人として税制上の優遇措置を受けて形成された財産が一般社団法人化後も無制限に公益目的以外で使われることがないよう、公益目的支出計画に基づき、公益目的財産額を一定期間内に使用し、毎期その実施状況を報告する義務があります。

[記載要領]

・黄色部分は入力箇所です。印刷する際は色を消してください。

Ⅱ．公益目的支出計画実施報告書の概要

1．公益目的財産額（算定日：平成25年３月31日）	15,609,775 円	[1] 県に申請した公益目的財産額となります（この金額は今後も変わりません）。
2．当該事業年度の公益目的収支差額（①＋②－③）	1,541,290 円	[2] 計算式（①＋②－③）のとおり
①前事業年度の末日の公益目的収支差額	0 円	[3] 初年度は0円です。2年目以降は前年度の[2]の金額を入力します。
②当該事業年度の公益目的支出の額	8,032,750 円	[4] [12]の①の金額が自動転記されます。
③当該事業年度の実施事業収入の額	6,491,460 円	[5] [12]の②の金額が自動転記されます。
3．当該事業年度末日の公益目的財産残額（１－２）	14,068,485 円	[6] 計算式（１－２）のとおり
（参考）貸借対照表上の正味財産の額	20,512,246 円	[7] 正味財産（実際に残っている財産）と[6]公益目的財産残額が比較できます。
公益目的支出計画完了予定事業年度の末日	平成 0 年３月31日	[8] 完了予定日（原則として当初の公益目的支出計画の完了予定日）を記載します。

Ⅲ．実施事業等（継続事業及びその他事業）の状況

継続事業（継1・2）及びその他事業（他1・2）の実施状況は、事業報告書のとおりです。
また、継続事業に係る公益目的支出及び実施事業収入の明細は下記のとおりです。

事業区分	①公益目的支出の額（費用の額）	②実施事業収入の額（収益の額）	（①－②）の額	
継1（税環境整備）	6,138,676 円	350,160 円	5,788,516 円	[9] 正味財産増減計算書内訳表の継1の経常費用・経常収益を入力します。
継2（地域社会貢献）	1,894,074 円	6,600 円	1,887,474 円	[10] 正味財産増減計算書内訳表の継1の経常費用・経常収益を入力します。
継続共通	0 円	6,134,700 円	−6,134,700 円	[11] 正味財産増減計算書内訳表の継続共通の経常費用・経常収益を入力します。
合計	8,032,750 円	6,491,460 円	1,541,290 円	[12] 各欄の合計が計算されます。

Ⅳ．時価評価資産等の状況

1．算定日に有していた時価評価資産の状況

該当する資産は保有していない。

[13] 時価評価資産（土地・有価証券・時価と簿価が著しく多額な資産）がないため。

2．引当金の明細

番号	引当金の名称		目　的		事業番号	
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
1	退職給付引当金		職員の退職給付に備えるため		継1,2	
	#REF! 円	#REF! 円	#REF! 円	#REF! 円	#REF! 円	

[14] 退職給付引当金の推移を記載します。

以上